

令和元年7月1日14時00分  
資料配布 近畿地方整備局

## 猪名川の水質が大幅に改善しました(改善幅全国第1位) ～2018年一級河川の水質現況を公表します～

2018年の近畿管内一級河川で最も水質が改善した川は淀川水系猪名川の利倉地点(豊中市)で改善幅は全国一位を記録。

水質が最も良好だったのは、北川水系北川の高塚地点(福井県小浜市)など

### ○過去10年間で水質改善幅の大きな地点

猪名川	利倉 <small>とくら</small>	(水質改善幅 5.6mg/L)	→全国1位
曾我川	保橋 <small>たもつぼし</small>	(水質改善幅 4.0mg/L)	→全国2位
佐保川	井筒橋 <small>いづつぼし</small>	(水質改善幅 3.1mg/L)	→全国5位

### ○水のきれいな川(主要河川の地点別年平均水質)

福井県	北川	高塚 <small>たかづか</small>	(BOD 0.5mg/L)など
和歌山県	熊野川	熊野大橋	(BOD 0.5mg/L)など

### ○環境基準の満足状況

調査地点の104/115地点が環境基準を満足しています。

一般の方向けに、川や水に関心を持って頂けるよう、特集ページを設けたパンフレットを近畿地方整備局 河川部HPに掲載しています。

<http://www.kkr.mlit.go.jp/river/kankyau/suisitu.html>

<取扱い> \_\_\_\_\_

<配布場所> 近畿建設記者クラブ、大手前記者クラブ、堺市政記者クラブ、在堺記者クラブ、滋賀県政記者クラブ、福知山市政記者クラブ、舞鶴市政記者クラブ、綾部新聞記者クラブ、京都府政記者クラブ、宇治日刊記者クラブ、宮津市政記者クラブ、兵庫県政記者クラブ、姫路市政記者クラブ、但馬県民局県政記者クラブ、豊岡市政記者クラブ、奈良県政・経済記者クラブ、五條市政記者クラブ、和歌山県政記者クラブ、和歌山県地方新聞記者クラブ、和歌山県政放送記者クラブ、橋本市政記者クラブ、新宮記者クラブ、新宮中央記者会、福井県政記者クラブ、大野市政記者クラブ、三重県政記者クラブ、三重県第二県政記者クラブ、名張市政記者クラブ、伊賀記者会、熊野市記者クラブ

<問合せ先> 近畿地方整備局 河川部 河川環境課 課長 藤井 節生ふじい せつお  
課長補佐 北川 眞一きたがわ しんいち  
TEL 06-6942-0608(直通)

# 水質現況(平成30年度BOD結果 概要)



<配付資料>



## 近畿管内BOD結果 代表河川一覧

( )内はH29年度結果

項目	順位	河川名	BOD(mg/l)
ベスト	1	北川	0.53(0.63)
	2	熊野川	0.55(0.50)
	3	宇陀川	0.65(0.73)

## 近畿管内BOD改善幅結果 代表地点一覧

( )内はH20、H30結果

項目	順位	河川名/地点名	BOD(mg/l)
改善幅	1	猪名川/利倉	5.6 (9.0 - 3.4)
	2	曾我川/保橋	4.0 (6.2 - 2.2)
	3	佐保川/井筒橋	3.1 (5.5 - 2.4)

「1位」の北川は全国版パンフ・近畿版パンフともにコラム・特集掲載

「近畿1位」の利倉は全国1位  
「近畿2位」の保橋は全国2位  
「近畿3位」の井筒橋は全国5位

## 配布資料

### 平成 30 年近畿管内一級河川の水質現況の公表について（概要）

2018年の近畿管内一級河川で最も水質が改善した川は淀川水系猪名川の利倉地点（豊中市）で改善幅は全国一位を記録  
水質が最も良好だったのは、北川水系北川の高塚地点（福井県小浜市）など

#### 1. 平成 30 年水質調査結果について

##### ＜主要河川の地点別年平均水質＞（パンフレットP5）

○各地点の BOD 年平均値で見ると、高塚（北川）、西津橋（北川）、熊野大橋（熊野川）が近畿で最も良好な水質（BOD 0.5mg/L）調査結果となった。

##### ＜過去 10 年間の水質改善状況＞（P6）

○下水道の普及や水質改善の取り組みにより、利倉（猪名川）、保橋（曾我川）、井筒橋（佐保川）、郡界橋（佐保川）、国豊橋（大和川）ではこの 10 年で BOD 値が大幅に改善されている。

##### ＜生活環境の保全に関する環境基準の満足状況＞（P6）

○平成 30 年は、近畿地方一級河川（湖沼を含む）で環境基準のうち主要な指標である BOD（または COD）の基準を満足している地点の割合は、90%の 104 地点となっている。（環境基準の類型が指定されている 115 調査地点での調査結果）

- 河川類型指定 103 地点はすべて環境基準を満足
- 湖沼類型指定 12 地点中、環境基準を満足している地点は 1 地点

#### 2. 平成 30 年度ダイオキシン類・内分泌かく乱物質の実態調査結果について

##### ＜ダイオキシン類・内分泌かく乱物質の実態調査結果＞（P7、8）

○平成 30 年度に実施したダイオキシン類の実態調査では、すべての地点においても水質・底質の環境基準（水質：1pg-TEQ/l 底質：150pg-TEQ/g）を満足していた。

○平成 30 年度に実施した内分泌かく乱物質の実態調査では、すべての地点で重点調査濃度を満足していた。

#### 3. 平成 30 年感覚的な水質指標による調査結果について

##### ＜感覚的な水質指標に基づく調査結果＞（P10）

○「感覚的な水質指標」に基づく調査は、従来の有機性汚濁の指標である BOD だけでなく多様な視点で評価するため、「人と河川の豊かなふれあいの確保」、「豊かな生態系の確保」、「利用しやすい水質の確保」という 3 つの視点別に住民との協働による調査を実施しています。

- 『人と河川の豊かなふれあいの確保（4段階）』の視点においては、  
A「顔を川の水につけやすい」

- B「川の中に入って遊びやすい」
- C「川の中には入れないが、川に近づくことができる」
- D「川の水に魅力がなく、川に近づきにくい」

の指標ランクを設定しており、B「川の中に入って遊びやすい」の地点が多かった。

- 『豊かな生態系の確保（4段階）』の視点においては、
  - A「生物の生息・成育・繁殖環境として非常に良好」の地点が多かった。
  
- 『利用しやすい水質の確保（3段階）』の視点においては、
  - A「より利用しやすい」の地点が多かった。

#### 4. 水質事故等の発生状況について

##### <水質事故等の発生状況>（P 13）

○平成30年に近畿地方整備局管内で発生した水質事故は48件。水系別では淀川水系の発生件数が23件で最多。事故の種類別では油類によるものが多く、原因別では工場等での操作ミスや、交通事故によるものが多い。なお、平成28年までは概ね減少傾向であったが、それ以降は横ばい傾向。

【補足】平成29年の発生件数は、42件

近畿版の公表資料については、下記を参照してください。  
(近畿地方整備局 河川部HPに掲載)

<http://www.kkr.mlit.go.jp/river/kankyousuisitu.html>

全国版については、国土交通省 本省HPを参照してください。

[http://www.mlit.go.jp/river/toukei\\_chousa/kankyo/kankyousuisitu/h30\\_suisitu.html](http://www.mlit.go.jp/river/toukei_chousa/kankyo/kankyousuisitu/h30_suisitu.html)